

『祈りには効果がある』ことを立証するデータは
人類史上かつてなかったほど大量に揃っている
—ラリー・ドッシー博士—

「祈り」を科学する世界的権威

DR LARRY DOSSEY

ラリー・ドッシー博士

初来沖記念特別フォーラム

「21世紀の医療—スピリチュアル・メディシン」

日時：平成24年11月4日（日）

15：15～17：30（受付13：00開始）

場所：浦添市産業振興センター結の街3階ホール

住所／浦添市勢理客4丁目13番1号

TEL／098-870-1123

交通：バス…「勢理客」下車（徒歩5分）

※那覇バスターミナル発系統番号20・27・28・29・52・77

タクシー…那覇空港から約30分

参加費：¥5,000（会員¥3,000）

講師：ラリー・ドッシー博士

氏会 濱田賢治（のはら元気クリニック）

問合せ：TEL…098-995-8030 ※担当 我如古

E-mail…kenjih@athena.ocn.ne.jp

※生活習慣病予防指導士の方は3単位修得できます

ラリー・ドッシー博士

米国医学博士。科学的調査データに基づき「意識」と「自然治癒」の関係について研究する世界的に著名な研究者。1995年より代替医療の米国科学研究誌“Explore”誌の編集長を務めている。Explore誌は補完代替医療に関する研究と先進事例を紹介する国際学術誌で、欧米世界のオピニオンリーダーとしての地位を確立している。著書に「時間・空間・医療」（めるくまーる）、「魂の再発見」「癒しのことば」（春秋社）、「祈る心は治る力」（日本教文社）などがある。

特別企画のお知らせ

上記講演会に先立ち無料上映会を実施します。

映画タイトル：「祈り - サムシンググレートとの対話」

上映日時：11月4日（日）13：15～14：45

会場：浦添市産業振興センター「結の街」

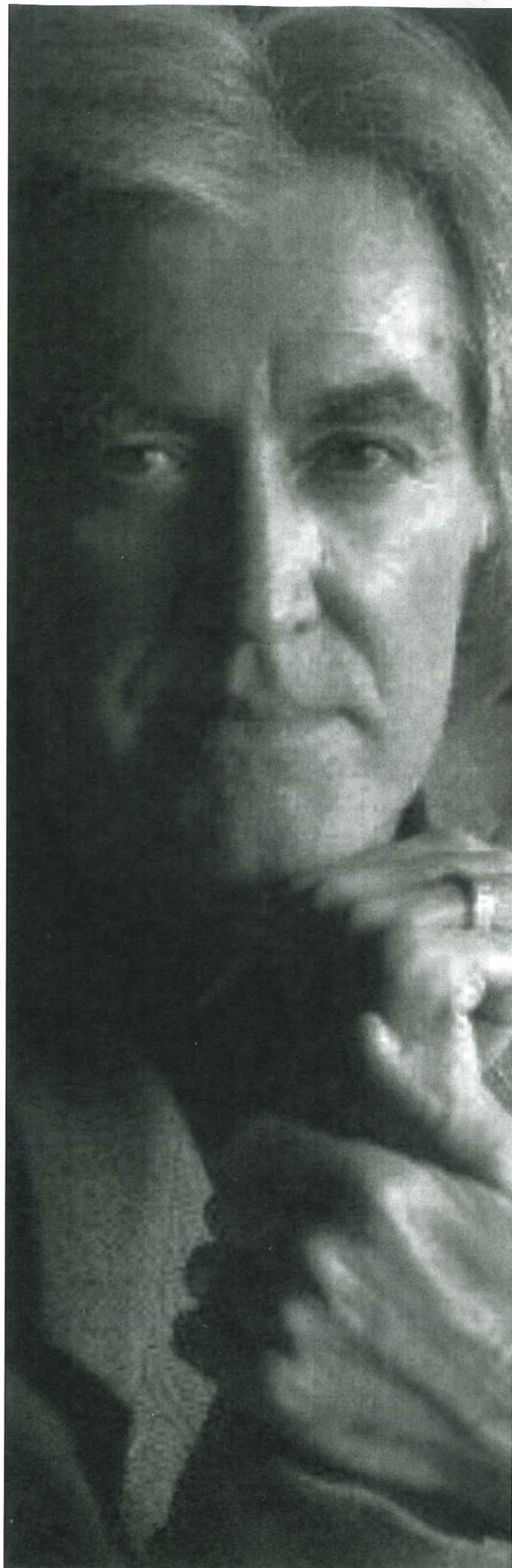
3階ホール

参加費：無料



JAPAN
HOLISTIC
MEDICAL
SOCIETY

NPO 法人ホリスティック医学協会南日本支部沖縄事務局主催

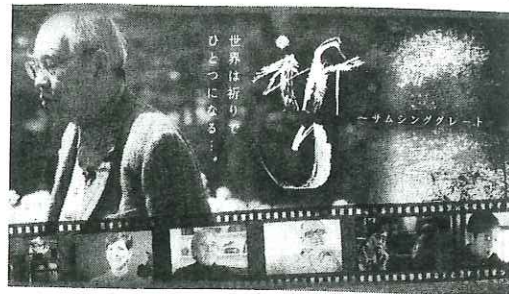


祈り～サムシンググレートとの対話

監督／企画・製作：白鳥 哲（2012年 / 90分）

＜キャスト＞ 村上和雄（筑波大学名誉教授）著書に『生命の暗号』『人は何のために「祈る」のか』など多数。

他キャスト：ディーパック・チョプラ／ブルース・リプトン／リン・マクタガート（回想ドラマ：北村有起哉、ほか）



＜ストーリー＞ 太古の昔から人類は祈り続けてきた。日本でもお正月には毎年 9000 万人以上の人々が初詣に祈りを捧げている。今、この祈りに科学のメスが入り始めている。その研究の最先端を欧米の科学者達と共に DNA 研究の権威、筑波大学名誉教授 村上和雄氏が解き明かしていく。村上氏と共に、ディーパック・チョプラ博士、細胞生物学者ブルース・リプトン教授、祈りを含めた意識研究を科学雑誌に発表し続けているジャーナリスト、リン・マクタガート女史などが登場し、「祈り」を含めた意識研究の最先端を明らかにしていく。

2012年9月15日より、東京 渋谷アップリンク、10月より大阪シアターセブン、京都みなみ会館にてロードショー。

祈りは届く（映画監督 白鳥 哲）

昨年、この映画の取材でアメリカに行きました。祈りを含めた意識研究は大変に進んでいて、一番驚いたのは、医療の現場で祈りが使われていることです。実際に患者さんを囲んで皆でお祈りをする場面を見ましたが、このケースでは祈った人と患者さんの双方に心地よい感覚と治癒効果が現れたのです。祈りは効くんだというレベルではなく、応用されているのだと私は思いました。

なぜ、医療の現場でここまで祈りが使われ出したのかというと1988年心臓外科医のランドルフ・バード氏が行った実験がきっかけでした。バード氏は、アメリカのサンフランシスコ総合病院の入院患者393名を祈るグループと祈らないグループにわけて約10ヶ月間二重盲検法を行いました。すると、祈ったグループは、人工透析器、呼吸器、抗生物質の使用量が激減したそうです。この結果に対し、医師のウィリアム・ノーラン博士がこのように断言しています。「この結果は、十分に精査に堪えうるものである。医師は“朝昼晩祈りをしなさい”と処方しなければいけない。祈りは効くのである」と。

国立ヘルスケアリサーチ研究所の調査では、現在、アメリカ医師の43%が医療の現場で祈りを実際に使っているというデータもあります。人間以外にも動物、植物、イースト菌、細胞、組織、これらにおいて祈りが効くことが証明されています。

映画の登場人物であるリン・マクタガードさんも

アリゾナ大学のゲリー・シュワルツ教授と共に植物にお祈りをするという実験を世界90カ国以上で行ったところ、やはり祈った植物の成長率が高くなり、何度やっても同じような結果が出ています。当時、政府と少数民族との間で激しい内戦があったスリランカでは、これ以上犠牲者を出さないために「スリランカが平和でありますように」と1万8千人でお祈りをする実験が行われました。すると驚くことに祈った直後から死傷者数が74%に減少したのです。私たちの祈りが実際に時空を越えて変化を与えているのです。これは個人に限らず、祈りは地球全体にも影響を与えるということも最近の研究で分かっています。

グローバル・コヒーレンス・プロジェクトという科学者のチームが、衛星観測によって地球の磁場と人間の集合意識の様子がどう影響しているかということも10年以上測定し続けています。測定では、9・11のテロ事件の時やダイアナ妃が亡くなった時に地場が変動しています。これは、私たちの意識のあり方が、地球にも影響しているということです。

もし、今この時代にエゴではなくエゴを越えた祈りができたら、私たち人類は大きく変わり、地球の変容にもついていけるのではないのでしょうか。今こそ、この祈りが重要な時期に来ていると思います。

実際に医療の現場で祈りやヒーリングを使ってみてください。お医者さんが使うようになると一般の意識が変わります…。祈りは効きます。

平成24年10月吉日

関係者 各位

NPO 法人 日本ホリスティック医学協会
沖縄事務局
事務局長 濱田 賢治

「NPO 法人 日本ホリスティック医学協会 沖縄事務局開設のご案内」
『ラリー・ドッシー博士 初来沖記念特別フォーラム』 開催のご案内

拝啓 仲秋の候、沖縄も朝夕は涼やかな風を感じますね。皆様におきましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、NPO 法人 日本ホリスティック医学協会 沖縄事務局を開設する運びとなりました。今後の活動の趣旨、開設ご挨拶を含め 下記、記念講演会のご案内と同封させていただきますので、ご関心のある皆様へ、ご周知・ご配布・また貴施設にてご掲示等して頂けると幸いに存じます。末筆となりますが、貴施設のますますのご発展を祈念しております。

敬具

記

初来沖記念特別フォーラム

～「祈り」を科学する世界的権威 ラリー・ドッシー博士を演者に迎え～

21世紀の医療 『スピリチュアル・メディスン』

— 科学的データに基づいた、心と自然治癒の関係について —

日時: H24年 11月4日(日) 15:15～17:30

(受付13:00開始…*13:15～プレ上映会あり別紙参照。)

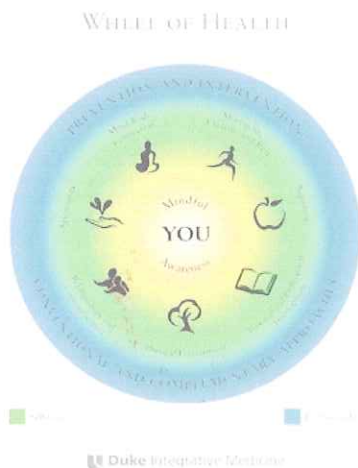
場所: 浦添市産業振興センター結い街3階ホール(詳細チラシを参照下さい)

講師: ラリー・ドッシー博士 (同時通訳付き) 参加費: ¥5,000 (会員¥3,000)

問い合わせ: TEL098-995-8030 E-Mail kenjih@athena.ocn.ne.jp ※担当:我如古

沖縄事務局開設・今後の活動の趣旨

各個人が自身に必要な『健康の輪』を学び大切に繋がり、その絆を再認識することが、沖縄の抱えている社会問題全体の健全性の回復へと波及していくものと捉え、個々の心身のセルフケア力・コミュニティヘルスの向上への貢献をもって沖縄全体の健全性を目指します。『命どう宝』の意：存在するすべての命が尊いもの、大地、風、海、太陽、天空、生物の先祖、子孫・・・すべての命が絆で紡がれて存在していることに気づき、自己の調和を整える事が全ての絆の調和を保つことに必要な取り組みとなることを、沖縄の地から『健康の輪』・コミュニティヘルスのモデルとして提唱していく所存です。数年後には、沖縄事務局がホリスティック医療・統合健康法など、県内の包括的コミュニティヘルスケアの核となり、企画や情報を担う場となる活動へ広げていこうと構想しております。



『健康の輪』とは

※詳細: WHEEL OF HEALTH

と検索にて掲載されています。